

資金収支計算書（普通会計）

大阪市の1年間の資金（現金）の流れを性質別に3つに区分してまとめたものです。どのような活動に資金（現金）を支出し、どのように賄っているかがわかります。

年度当初資金残高
（前年度からの繰越資金） 15億円
 ※うち、翌年度繰越事業に必要な資金：11億円

経常的収支

経常的な行政活動から発生した収入及び支出を表したもの

支 出	1兆1,158億円
社会保障給付	5,010億円
人件費	2,108億円
その他（物件費等）	4,040億円
収 入	1兆4,057億円
地方税	6,419億円
国府補助金等	3,720億円
地方債発行額	1,302億円
その他（地方交付税、使用料等）	2,616億円
経常的収支	2,899億円
（⑭経常的収支	2,261億円）

投資・財務的収支

出資や貸付あるいは借入金の返済などの支出と、それらの財源としての貸付金の回収等の収入を表したもの

支 出	5,205億円
（貸付金、地方債償還額、基金積立額など）	
収 入	2,851億円
（貸付金回収、基金取崩額、地方債発行額など）	
投資・財務的収支	△ 2,354億円
（⑮投資・財務的収支	△ 2,037億円）

公共資産整備収支

大阪市や他団体の公共資産の整備にかかる支出と、それらの財源としての補助金や借入金等の収入を表したもの

支 出	889億円
（公共事業費など）	
収 入	583億円
（地方債発行額、国府補助金など）	
公共資産整備収支	△ 306億円
（⑯公共資産整備収支	△ 222億円）

年度末資金残高
（翌年度への繰越資金） 254億円
 ※うち、翌年度繰越事業に必要な資金：12億円

【ポイント】

職員数の削減などによる人件費の減や、企業収益の改善等による法人市民税などの地方税の増及び学校跡地の売却代などにより、1年間の資金収支は239億円のプラス（⑭15億円→⑮254億円）になりました。また市債の満期一括償還に備え、減債基金へ確実に積み立てを行っています。